

「学校版環境 I S Oコンクール」の取組

山鹿市立岳間小学校

1 宣言

〈昨年度の反省〉 ☆ 成果 ★ 課題

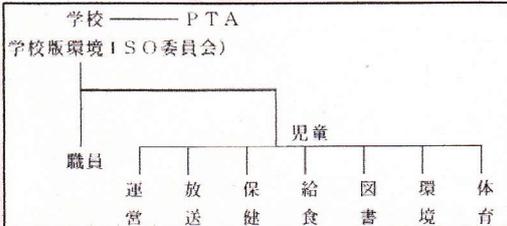
- ☆朝の愛校作業や月1回のクリーンデーなど、環境委員会を中心に児童主体で活動できている。
- ★細かな点検活動ができていなく、児童の実践を目に見える形で児童に示すことができなかつた。
- ★児童と保護者が環境について考え、一緒に取り組む活動や、授業で環境について学習したことを家庭に向けて発信する機会がもてなかつた。
- ★環境教育の復講を行う時間が確保できていなかつたので、十分に職員に伝わっていなかつた。

〈学校経営の努力点及び重点実践項目（抜粋）〉

◎教育環境の整備充実

- ・学校版環境 I S Oの推進
- ・特色ある学校づくり

〈校内推進体制・岳間小学校版 I S O 委員会〉



岳間小 かんきょうせんげん

- ① 実態把握を行う。(年2回の意識調査)
- ② 節水や節電の料金等を数値化して、児童が実態を把握しやすいようにする。
- ③ 環境コーナー(掲示)を作り、児童の環境意識を高めていく。
- ④ 家庭でも宣言項目を決め、家庭版環境 I S Oに年2回、評価カードを使って取り組む。
- ⑤ 掲示教育の充実を図る。

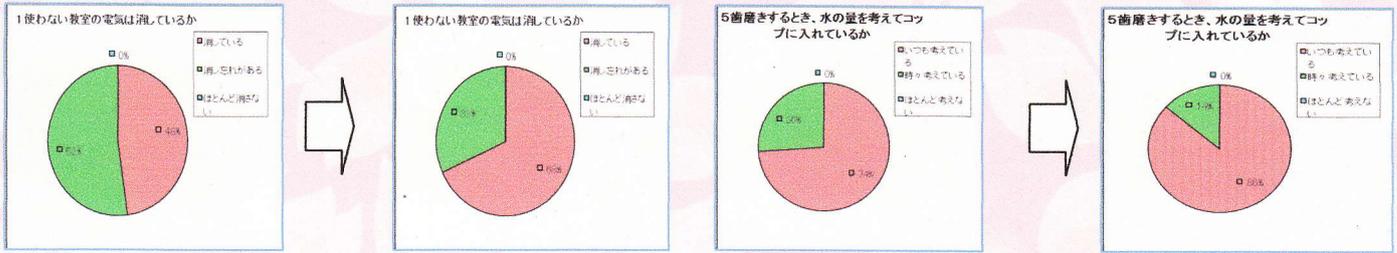
2 行動

は、今年度初めて行った取組

(1) 意識調査

環境月間の6月と11月に児童対象の意識調査(12項目)を行った。節電や節水に関しては、1回目よりも数値が上がった。しかし、家庭での節水や節電、リサイクルに関しては、「いつもしている」の数値がやや下がった。

[意識調査結果]



(2) 委員会の取組



年間計画を説明

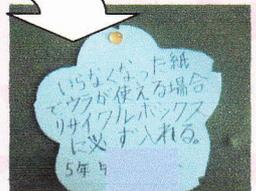
さわやか集会時に、保健・環境委員が年間計画について説明をしている。



9月は、昨年に比べて水道代は・・・。

個人の宣言項目 本校の環境宣言

環境コーナー設置
学校版環境ISO宣言項目は、児童昇降口に掲示し、児童がいつも意識できるようにしている。

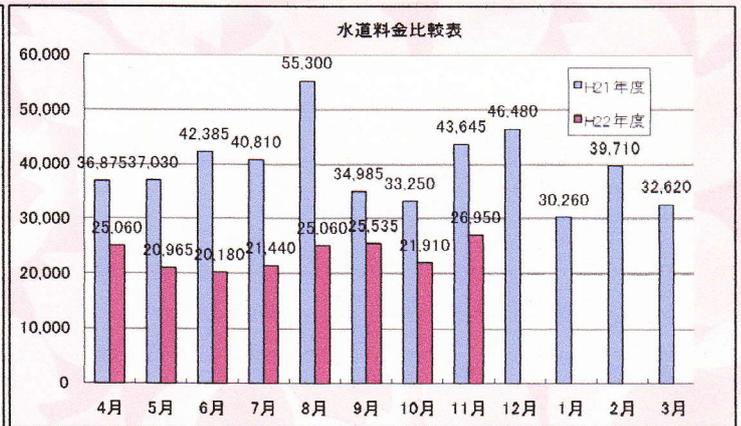


各自、宣言項目を立てて取り組んでいる。

電気使用料金〈量〉表

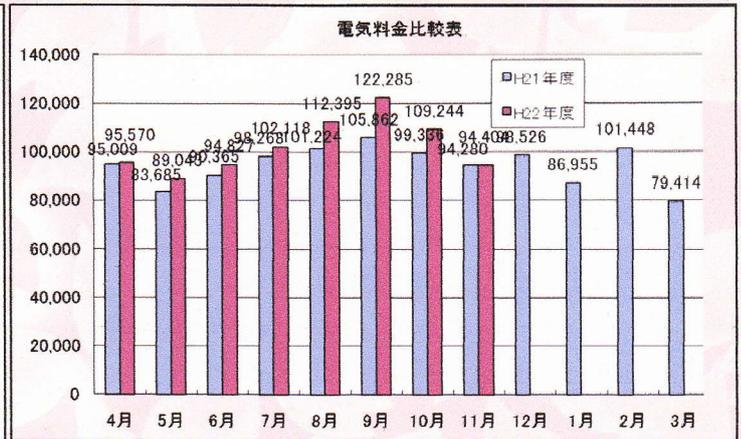
岳間小 水道使用料金 (使用量)

月	平成 21 年度	平成 22 年度	21 年度と 比較	トータル
4	36,875円	25,060円	-11,815円	11,815円
	232m	157m ³		
5	37,030円	20,965円	-16,065円	27,880円
	233m	131m ³		
6	42,385円	20,180円	-22,205円	50,085円
	267m	126m ³		
7	40,810円	21,440円	-19,370円	69,455円
	257m	134m ³		
8	55,300円	25,060円	-30,240円	99,695円
	349m	157m ³		
9	34,985円	25,535円	-9,450円	109,145円
	220m	160m ³		



岳間小 電気使用料金 (使用量)

月	平成 21 年度	平成 22 年度	21 年度と 比較	トータル
4	95,009円	97,570円	+2,561円	2,561円
	3,690kwh	3,990kwh	+300kwh	
5	83,685円	89,043円	+5,358円	7,919円
	3,084kwh	3,366kwh	+282kwh	
6	90,365円	94,827円	+4,462円	12,381円
	3,594kwh	3,768kwh	+300kwh	
7	98,268円	102,118円	+3,850円	16,231円
	4,152kwh	4,224kwh	+282kwh	
8	101,224円	112,395円	+11,171円	18,792円
	4,056kwh	4,512kwh	+456kwh	
9	105,862円	122,285円	+16,423円	32,215円
	4,422kwh	5,18kwh	+696kwh	



- ・電気や水道使用料金等を昨年度や先月と比較して、表に数値とコメントを書き込み、主体的に行動ができるようにした。
- ・月1回給食時に、環境委員が電気や水道使用料金の結果について、全校児童に報告し、呼びかけを行うようにした。

(4) 家庭との連携

* 家庭版環境 I S O 実施 (年 2 回)

家庭版環境 I S O チェック表
(2017 年 実績)

1. I S O 2311 目標達成率 (100%)
2. I S O 2312 目標達成率 (100%)
3. I S O 2313 目標達成率 (100%)
4. I S O 2314 目標達成率 (100%)
5. I S O 2315 目標達成率 (100%)
6. I S O 2316 目標達成率 (100%)
7. I S O 2317 目標達成率 (100%)
8. I S O 2318 目標達成率 (100%)
9. I S O 2319 目標達成率 (100%)
10. I S O 2320 目標達成率 (100%)

家庭版環境 I S O 宣言項目
電気を無駄にしない。

項目	達成	達成率
7/28	◎	2/1
8/2	◎	2/1
8/6	◎	2/1
8/9	◎	2/1
8/18	◎	2/1

☆「この取組で、節電、節水を意識するようになった」という保護者の意見がたくさんあった。
☆この取組を続けていってほしいという意見も多かった。
☆家族で、エコについて話し合う機会をもてたようだ。
★目標が、節電、節水に偏ってしまっていた。
★啓発が不十分だったため、取り組んでいない家庭があった。

〈児童の感想〉
・テレビを食事の時に付けるから、食事のときは消すようにした。
・今度から、学校でも家でも節水に気をつけたいです。
(保護者の感想)
・テレビを見ない時は、主電源から切っていました。テレビ・ゲームコントロールも兼ねていました。

* やまがエコキッズノートの活用 (5 年生)

夏休みを活用して、「やまがエコキッズノート」(5 年生対象)にチャレンジした。家の人と協力して、一週間ごとに電気量をチェックしたり、環境に関する項目をチェックしたりした。本校から 2 名「スーパーエコキッズ賞」に入賞した。ふり返りを定期的に行うことで「明日は、今日よりも節電しよう。」と心がけるようになり、少しずつ環境に対する意識が高まってきた。



「やまがスーパーエコキッズ」表彰式に出席(於:市役所)

3 見直し

・環境に関する意識を高めるために 11 月にある環境委員が集会で、環境の大切さについて発表を行う。
・意識調査結果からリサイクルに関する意識がもう一歩だったのでエコキャップ運動を行うことで、環境への意識を更に高める。
・電気料金が昨年度より高く、なかなか低くならないので、環境委員で話し合い、呼びかけを強化する取組を行う。



アース君になりきって、自分で実践しているエコ活動を紹介したり、エコキャップ運動を説明したりして、「地球を守ろう」と呼びかけた。



エコキャップ回収コーナーを児童昇降口前に設置

4 成果と課題

☆・・・成果 ★・・・課題

- ☆節水や節電の料金を数値化し、児童の実践を目に見える形で児童に示すことによって、意識は高まってきた。
- ☆家庭版環境 I S O に取り組んだことで、家族で環境について話をする機会ができ、意識が高まった。
- ☆エコキャップ運動は、2 学期の後半から始めたが、回収に協力する児童が多かった。
- ★プールが水漏れしていたために、常に地下水をくみ上げてモーターを回し続けていたため、電気料金が昨年度と比較して増えていたと考えられるので早急に修理を依頼している。
- ★学校の目標の振り返りに終わってしまって、自分自身の立てた目標を振り返る機会がなかった。